

活動名：飛騨市有機農業実施計画の策定に向けた検討会

実績:127千円

【内訳】

消耗品費 54千円

印刷費 73千円

【活動目的・背景】

消費者の環境問題への意識が高まりつつある中、飛騨市有機農業推進協議会が中心となり、有機農業を推進していくうえでの課題を整理し、計画策定に向けた検討会を年間を通じて開催しました。

検討会では、有機農業の栽培技術の向上や販路拡大に向けた取り組みのほか、有機農産物に対する地域の理解醸成に関する具体的な施策や目標についての議論が活発に行われました。



検討会の様子

【活動内容】

①第4回検討会(R6.3.28)

初年度となる『種を蒔くプロジェクト』の概要に加え、直近に予定されている学校給食等の食育事業について情報共有及び協議したほか、R6年度予算について協議を行いました。

②第5回検討会(R6.7.16)

市民への理解醸成につながる著名人による講演会の実施に向けての検討に加え、実施計画に盛り込む取り組みを検討したほか、秋に実施予定のオーガニック給食やファーマーズキッチン事業の内容について打ち合わせを行いました。

③第6回検討会(R6.11.13)

当協議会が発足した2015年から課題となっていた物流コストについて、出荷組合機能を持った組織づくりについて検討を行った。出荷組合機能については、次年度に実証として稼働できるよう、人材、ヤード、集荷から発送までの仕組みについて協議し、実施計画に盛り込む方向で検討が進みました。

④第7回検討会(R6.12.19)

オーガニックビレッジ宣言及び飛騨市有機農業実施計画の内容について議論したほか、視察研修の報告や、次年度事業についての打合せを行いました。

【成果】

検討会では、有機農業の栽培技術向上や販路拡大に向けた取り組み、有機農産物に対する地域の理解醸成に関する具体的な施策や目標について活発な議論が行われました。特に、物流コスト問題に対して出荷組合機能を持った組織づくりを検討したことは、有機農家の負担軽減や販路拡大につながることを期待されます。今後の展望について検討会での議論を踏まえ、具体的な施策や目標を盛り込んだ実施計画の策定につながりました。